

# [建設農政]課 経営計画書（総括表）

## ■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H23 年度計画額（単位：千円）		H23 年度必要人工	
			H23 年度計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	道路整備事業	A	292,378	0	0.6	0
2	道路維持管理事業	B	100,441	15,166	2.4	0
3	河川排水路整備事業	A	0	0	0.3	0
4	河川排水路維持管理事業	B	13,943	0	0.3	0
5	橋りょう整備事業	A	13,900	0	0.4	0
6	橋りょう維持管理事業	B	6,401	3,245	0.4	0
7	調整池整備事業	A	0	0	0.4	0
8	調整池維持管理事業	B	3,197	700	0.5	0
9	農業委員会事業	B	6,774	2,829	1.8	0.5
10	農業振興事業	B	23,323	657	1.8	0.5
11	農地流動化事業	B	1,312	0	0.7	0
12	土地改良事業	B	32,146	8,701	0.4	0
合 計			493,815	31,298	10.0	1.0

## ■特記事項

--

# 事業別経営計画書【A】

## ■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	1
事務事業名	道路整備事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	道路の新設・改良により、安全で安心な生活環境を確保する。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路用地の購入</li> <li>・ 道路拡幅、改良工事の設計</li> <li>・ 道路拡幅、改良工事の施工</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
現在における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 限られた資金のなかで、交通上の安全や良好な生活環境を確保するために、歩道や側溝の整備を行わなければならない。</li> </ul>		
平成 23 年度 に向けた改 善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中期的な歩道整備等道路整備計画の策定準備をする。</li> <li>・ 道路整備に係る財源確保に向け検討</li> <li>・ 区要望に対する早期回答</li> </ul>		

## ■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
4	平成23年度道路改良工事実施計画策定
8~9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車道(レーン)のルート化計画の策定</li> <li>    自転車道(レーン)の目的検討</li> <li>    自転車道(レーン)の構造検討</li> <li>    自転車道(レーン)のルート化検討</li> </ul>
随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備計画の策定</li> <li>・道路改良工事の設計、施工（用地、用水時期等条件の整ったものから）</li> </ul>

## □3年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備計画の策定と計画実施</li> <li>・セットバック部分の道路用地取得(実延長150m取得)</li> <li>・道路網計画の見直し</li> </ul>					
項目(単位)	H21計画	H21実績	H22計画	H23目標	H24目標	H25目標
道路整備計画				計画策定	計画策定	計画実施
セットバック部分の取得実延長(m)				50m	50m	50m
道路網計画の見直し				見直し	計画策定	計画完成

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路網計画の見直し案の策定</li> <li>・道路整備計画の策定・完成</li> </ul>
H25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路網計画の見直し案の完成</li> <li>・道路整備計画の実施</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	139,860	228,959	292,378
(内特定財源)		千円	29,280	0	0
人工	職員	人工		0.5	0.6
	臨時職員	人工		0.0	0.0
	計	人工		0.5	0.6

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
(04)	11	消耗品費	10 (△44)	必要印紙代金の減少
	13	設計監理等委託料	4,301 (△5,960)	用地取得筆数等の減少により測量委託件数が減少するため
	15	道路改良工事費	269,000 (62,870)	小学校通学路整備及び H22 年度継続事業のため
	22	物件補償等補償金	13,412 (6,872)	補償物件(樹木等)が多くなるため
合 計			286,723 (63,738)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金 額	備 考
合 計		

## ■特記事項

財源確保に努める
----------

## ■改善策等に対する取組内容

- ・毎年区から提出していただいている要望内容を位置図とともにデータ化した。

## ■評価

今後の道路整備に要する財源の確保するための情報収集が必要である。

区要望のデータ化はできたが、問題は今後そのデータをいかに区とのやりとりに上手く活用し、更新していくかが大切なことであり、その方法を考える必要がある。

中期的な歩道整備等道路整備計画の策定準備を実施することができなかった。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	2
事務事業名	道路維持管理事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	安全で安心した生活環境を維持するため、道路施設の長寿命化を図る。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舗装、道路維持修繕等工事</li> <li>・ 道路樹木の維持管理</li> <li>・ 側溝清掃に伴う汚泥搬出業務</li> <li>・ 道路台帳更新業務</li> <li>・ 住民団体による道路樹木の維持管理</li> </ul>		
現在における課題	<p>道路、河川管理施設などの公共土木施設を建設し、管理してきましたが、多くの施設が近い将来、更新（つくり直す）しなければならない時期が到来することが懸念されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設点検とデータ整理による状況把握と評価</li> <li>・ 求められる性能を念頭とした管理水準の設定</li> <li>・ 劣化予測による将来の状況、性能の推定</li> <li>・ 中長期管理計画の策定（予算の平準化やコストの縮減を考慮した最適な維持管理計画）</li> </ul>		
平成 23 年度 に向けた改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算の平準化を考えた長期的な主要町道舗装修繕計画を策定する。</li> <li>・ 予算の平準化を考えた中期的な道路付属物修繕計画を策定する。</li> <li>・ 区要望に対する早期回答</li> </ul>		

## ■作業工程（平成 23 年度）

月	作業内容
4	街路樹等維持管理業務の年間契約 平成 23 年度維持工事実施計画策定
5~8	主要町道舗装修繕計画の策定 道路付属物修繕計画の策定
6	道路台帳更新業務
随時	舗装、道路維持修繕等工事

## □3年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要町道舗装修繕計画の策定と計画実施</li> <li>・道路付属物修繕計画の策定と計画実施</li> </ul>					
項目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
主要町道舗装修繕計画				計画策定	計画実施	計画実施
道路付属物修繕計画				計画策定	計画実施	計画実施

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要町道舗装修繕計画に基づく工事の実施</li> <li>・道路付属物修繕計画に基づく工事の実施</li> </ul>
H 2 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要町道舗装修繕計画に基づく工事の実施</li> <li>・道路付属物修繕計画に基づく工事の実施</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	99,638	97,957	100,441
(内特定財源)		千円	17,871	17,755	15,166
人工	職員	人工		1.6	2.4
	臨時職員	人工		1.0	0.0
	計	人工		2.6	2.4

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
(03)	11	消耗品費	1,044 (994)	道路維持補修等材料費から組み替えたため
		修繕料	260 (100)	道路照明灯の老朽化により修繕件数が増加しているため
	13	道路樹木維持管理委託料	8,631 (1,064)	4 月当初に一括発注できるよう、予算額を設計金額に改めたため
		道路維持管理等委託料	1,409 (△1,091)	緊急雇用による自営作業に一時的変更
		道路台帳更新作業委託料	4,263 (1,263)	道路占用システムの改善のため
	15	道路維持工事費	83,000 (1,000)	道路照明灯設置のため
	16	道路維持補修等材料費	0 (△1,000)	消耗品費へ組み替えたため
18	土木用備品購入費	158 (158)	道路補修用転圧機が老朽化により故障したため買換え	
合 計			98,765 (2,488)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金 額	備 考
道水路占用料	15,166	
合 計	15,166	

## ■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全（計画的にメンテナンスを行うこと）をめざす。



## ■改善策等に対する取組内容

- ・主要町道舗装修繕計画については、平成 24 年度に舗装修繕計画策定委託を予算計上した。
- ・毎年区から提出していただいている要望内容を位置図とともにデータ化した。

## ■評価

区要望のデータ化はできたが、問題は今後そのデータをいかに区とのやりとりに上手く活用し、更新していくかが大切なことであり、その方法を考える必要がある。

主要道路を含め町道全体の舗装修繕には相当な経費が必要であるので、財源を考えた上での舗装修繕計画を策定する必要がある。

# 事業別経営計画書【A】

## ■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	3
事務事業名	河川排水路整備事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	安全で安心した生活環境を維持するため、河川排水路施設の整備を図る。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・河川排水路の改良工事の設計</li><li>・河川排水路の改良工事の施工</li><li>・</li></ul>		
現在における課題	豪雨時に流下能力が不足する水路がある。		
平成23年度 に向けた改善策等	調整池整備事業と整合を図り整備計画の策定準備をする。		

## ■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
随時	調整池（秋田字西郷前地内）の整備計画に伴う排水路整備計画の検討

## □3年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>調整池（秋田字西郷前地内）の整備に合わせて排水路整備を実施する。</li> <li>.</li> </ul>					
項目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
西郷前地内の排水路整備				整備に向けた準備	整備計画	整備実施

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水路整備計画の策定</li> <li>.</li> </ul>
H25	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水路整備計画の実施</li> <li>.</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	15,435	8,500	0
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工		0.2	0.3
	臨時職員	人工		0.0	0.0
	計	人工		0.2	0.3

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減 (前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
(04)	15	工事請負費	0 (△8,500)	H23 年度は整備予定がないため
合 計			0 (△8,500)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
合 計		

## ■特記事項

--

## ■改善策等に対する取組内容

## ■評価

河川の長寿命化及び河川の処理能力確保のための改修を計画的に実施していく必要性がある。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	4
事務事業名	河川排水路維持管理事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	安全で安心した生活環境を維持するため、河川排水路施設の長寿命化を図る。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 側溝横断管等浚渫</li> <li>・ 住民団体への河川排水路の除草作業の委託</li> <li>・ 河川敷併用道路等の草刈業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排水路の維持管理工事</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
現在における課題	河川管理施設を建設し管理してきましたが、多くの施設が近い将来、更新（作り直す）しなければならない時期が到来することが懸念されている。 道路側溝、排水路の暗渠化に伴い浚渫要望箇所が増えている。		
平成 23 年度 に向けた改 善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算の平準化を考えた長期的な河川修繕計画の策定に向けた準備をする。</li> <li>・ 区要望に対する早期回答</li> </ul>		

## ■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
3	各区の側溝横断管浚渫依頼箇所の確認
4	側溝横断管浚渫工事の実施
	住民団体による河川敷道路の除草（年間）
7	平和橋から大栄橋間の河川敷併用道路除草作業の委託

## □3年間の目標

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設点検とデータ整理による状況把握と評価</li> <li>・求められる性能を念頭とした管理水準の設定</li> <li>・劣化予測による将来の状況、性能の推定</li> <li>・中長期管理計画の策定（予算の平準化やコストの縮減を考慮した最適な維持管理計画）</li> </ul>					
項目（単位）	H21計画	H21実績	H22計画	H23目標	H24目標	H25目標

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	・
H25	・

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	11,707	13,344	13,943
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工		0.6	0.3
	臨時職員	人工		1.0	0.0
	計	人工		1.6	0.3

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
(03)	13	委託料	2,927 (599)	尾北自然歩道の除草を行うため
合 計			2,927 (599)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
合 計		

## ■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全（計画的にメンテナンスを行うこと）をめざす。



## ■改善策等に対する取組内容

## ■評価

河川の老朽化に対応するため、計画的な補修を実施していく必要性がある。

# 事業別経営計画書【A】

## ■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	5
事務事業名	橋りょう整備事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	安全で安心した生活環境を維持するため、橋りょうの拡幅・歩道設置等を図る。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋りょう整備工事の設計</li> <li>・ 橋りょう整備工事の施工</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
現在における課題	老朽化した橋りょうの架け替えに時間、費用がかかる		
平成 23 年度 に向けた改 善策等	繰越明許により平成 22 年度中に発注することで工期を短縮		

## ■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容
10	大口橋新設に伴う周辺整備及び既設大口橋撤去工事

## □ 3 年間の目標

目 標	・ 橋りょう長寿命化修繕計画に基づき橋梁整備計画策定及び整備の実施 ・					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
大口橋整備		詳細設計	下部、上部 工施工	上部工の 完了 周辺整備		
橋りょう長寿命化計画 に基づく橋梁整備						計画実施 に向けた 準備

## □ 2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	・ 橋りょう長寿命化修繕計画策定 ・
H 2 5	・ 橋りょう長寿命化修繕計画に基づく整備の実施 ・

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	10,575	35,000	13,900
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工		0.5	0.4
	臨時職員	人工		0.0	0.0
	計	人工		0.5	0.4

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減 (前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
(06)	15	大口橋架替工事費	13,900 (△21,100)	H22 は橋りょう本体の整備があったため
合 計			13,900 (△21,100)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
合 計		

## ■特記事項

--

## ■改善策等に対する取組内容

早期発注により通常年度末までかかる工事を秋に完了できた。これにより早期に通学路として供用でき、また同一年度に周辺整備工事を実施できた。

## ■評価

今回の大口橋の改築工事については、計画通り実施することができ、周辺整備工事を含め工期の短縮が図れた。

今後の橋梁の改築及び補修については、長寿命化計画を平成24年度に策定することで、国の補助等財源確保に留意し計画的に実施していくこととなる。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	6
事務事業名	橋りょう維持管理事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	安全で安心した生活環境を維持するため、橋りょうの長寿命化を図る。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋りょうの長寿命化計画の策定</li> <li>・ 橋りょうの修繕工事の設計</li> <li>・ 橋りょうの修繕工事の施工</li> <li>・ 橋りょうの維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
現在における課題	架設から相当年数経過した橋りょうが多数あるが、架け替え及び修繕計画が未策定である。		
平成 23 年度 に向けた改 善策等	橋りょうの長寿命化計画策定にむけ現状を把握するため橋りょう点検を実施する。		

## ■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容
6	橋りょう点検等業務委託

## □ 3 年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋りょうの長寿命化計画を策定、実施する</li> <li>施設点検とデータ整理による状況把握と評価</li> <li>求められる性能を念頭とした管理水準の設定</li> <li>劣化予測による将来の状況、性能の推定</li> <li>中長期管理計画の策定（予算の平準化やコストの縮減を考慮した最適な維持管理計画）</li> </ul>					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
橋りょう点検等業務			14 橋	23 橋		
橋りょう長寿命化計画 策定					37 橋	
修繕実施						1 橋

## □ 2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋りょうの長寿命化計画の策定</li> <li>・</li> </ul>
H 2 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋りょうの長寿命化計画の実施</li> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	0	5,000	6,401
(内特定財源)		千円	0	1,400	3,245
人工	職員	人工		0.2	0.4
	臨時職員	人工		0.0	0.0
	計	人工		0.2	0.4

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
(05)	13	橋りょう点検等業務委託料	5,901 (1,901)	対象橋りょう数が増えるため H22 年度 14 橋⇒H23 年度 23 橋
	15	橋りょう維持修繕等工事費	500 (△500)	H22 年度において実績がなかったため減額
合 計			6,401 (2,401)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
社会資本整備総合交付金	3,245	
合 計	3,245	

## ■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全（計画的にメンテナンスを行うこと）をめざす。



## ■改善策等に対する取組内容

平成 22 年度に実施した 14 橋に続き、今年度は 23 橋の点検を実施した。来年度はこれら 37 橋について修繕計画を策定予定である。

## ■評価

今後の橋梁の改築及び補修については、長寿命化計画を平成 24 年度に策定することで、国の補助等財源確保に留意し計画的に実施していくこととなる。

# 事業別経営計画書【A】

## ■基礎情報

所属名	建設部建設農政課		No.	7
事務事業名	調整池整備事業			
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する	
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保	
事業目的	安全で安心した生活環境を維持するため、集中豪雨等による水害を減少させるために雨水貯留施設を整備する。			
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調整池整備工事の設計</li> <li>・ 調整池整備工事の施工</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	
現在における課題	新川流域水害対策計画に基づき、5千㎡分の調整池整備が必要である。			
平成23年度 に向けた改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算の平準化を考えた長期的な調整池整備計画の策定に向けた準備をする。</li> <li>・ 秋田字西郷前地内への調整池整備に向けた準備をする。</li> </ul>			

## ■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容
	秋田字西郷前地内への調整池整備に向けた調整

## □ 3 年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西郷前地内に調整池を整備することで、この地域の冠水を防ぐ。</li> <li>・長期的な調整池整備計画の策定</li> </ul>					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
西郷前地内に調整池を整備				整備に向けた準備	設計	完成

## □ 2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西郷前地内調整池基本・詳細設計業務委託</li> <li>・長期的な調整池整備計画の策定</li> </ul>
H 2 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西郷前地内調整池工事実施</li> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	117,793	0	0
(内特定財源)		千円	117,226	0	0
人工	職員	人工		0.1	0.4
	臨時職員	人工		0.0	0.0
	計	人工		0.1	0.4

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減 (前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
合 計				

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
合 計		

## ■特記事項

国庫補助(交付金)の採択を受けられるよう準備する。

## ■改善策等に対する取組内容

秋田字西郷前地内への調整池整備のため、平成 24 年度に基本設計を予算化した。

## ■評価

基本設計予算を確保したことから、今後は調整池の目的を明確化することで、その規模や工法を決定していく必要がある。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	8
事務事業名	調整池維持管理事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	安全で安心した生活環境を維持するため、調整池の長寿命化を図る。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>調整池の修繕工事の設計</li><li>調整池の修繕工事の施工</li><li>調整池の維持管理</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・</li><li>・</li><li>・</li></ul>	
現在における課題	施設を建設し管理してきましたが、相当年数経過した施設の維持管理費の増加が懸念されている。		
平成 23 年度 に向けた改 善策等	・定期的に点検を実施することにより適正な維持管理を行う		

## ■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容
5	定期点検  除草、清掃(適宜)

## □ 3 年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に点検を実施することにより適正な維持管理を行う</li> <li>・</li> </ul>					
項 目 (単位)	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
修繕計画				計画準備	計画策定	計画実施

## □ 2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検を行い点検結果に基づき修繕を行う。</li> <li>・修繕計画を策定する。</li> </ul>
H 2 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検を行いその結果と修繕計画に基づき修繕を行う。</li> <li>・</li> </ul>

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	2,098	3,928	3,197
(内特定財源)		千円	1,380	512	700
人工	職員	人工		0.4	0.5
	臨時職員	人工		0.0	0.0
	計	人工		0.4	0.5

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
(05)	11	修繕料	930 (△320)	H22 年度は余野 2 号調整池の排水ポンプ交換修繕を実施したため
	12	通信運搬費	0 (△36)	土木総務費 一般管理事業へ
合 計			930 (△356)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
奈良子川調節池管理委託金	700	
合 計		

## ■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全（計画的にメンテナンスを行うこと）をめざす。

特定財源金額は、奈良子川調節池管理委託金のうち草刈り等維持管理委託料分を計上



## ■改善策等に対する取組内容

- ・平成23年度は余野1号調整池の点検を行った。今後も他の調整池の点検を行っていく。

## ■評価

地元団体の皆さんによる草刈り等の維持管理が定着し、常にきれいな状態が保たれている。  
また、ポンプ等機器については、毎年度当初の点検を実施することができるようになり、機器の長寿命化が期待される。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	9
事務事業名	農業委員会事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(2)	環境と共生した産業の発展
事業目的	地域環境の質的な向上につながる農地の保全を目指すため、農地転用の適正審査、耕作放棄地の縮小など、健全な委員会運営に努める。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業委員会総会運営</li> <li>・農地法関係許可申請</li> <li>・農業者年金関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地情報管理システム</li> <li>・農家基本台帳の配布、回収</li> <li>・農業委員選挙人名簿の配布、回収</li> <li>・遊休農地、不法転用パトロール</li> </ul>	
現在における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地法関係許可申請では、不正防止のため委員認証の廃止の方向である。</li> <li>・総会資料の取扱い(個人情報保護)について議論が高まりつつある。</li> <li>・2年目になる遊休農地、不法転用パトロールを軌道に乗せる必要がある。</li> </ul>		
平成23年度に向けた改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員改選後から委員とともに現地確認し、認証行為に代わる内容把握を実施する。</li> <li>・簿冊管理方式を導入し、任期満了後に返還を検討。</li> <li>・1年目のパトロールを検証し、強化及び確立に役立てる。</li> </ul>		

## ■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容	
5	23 年度委員会活動計画の策定	公表 (HP 等)
6	農業者年金現況届の回収	経営移譲年金受給者のチェック
7	農業委員会委員一般選挙	新規委員から総会運営方法を改める。
8	農家基本台帳の配布、回収	農事組合組織に配布を依頼
9~11	農地パトロール	委員 2 名及び事務局 2 名で担当区域を巡回
9	農業委員研修	愛知県主催
11	視察研修	先進地の取組みを検証
3	23 年度委員会活動点検・評価	公表 (HP 等)
随時	農地法関係許可申請	7 月より委員、事務局で事前現地調査を実施

## □ 3 年間の目標

目 標	・農地法関係許可申請時の現地調査、農地パトロール等農業委員が委員会運営に積極的に関われる環境を整え、委員会活動計画をより実効性のあるものにする。					
項 目 (単位)	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
耕作放棄地の減少			調査開始	調査結果分析	目標値設定	目標値設定

## □ 2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	・委員の総会資料(1 年間分)の保存の確認
H 2 5	・農地パトロールの範囲を農振地域から町全域の農地へ拡大

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	4,946	6,701	6,774
(内特定財源)		千円	1,814	1,820	2,829
人工	職員	人工		2.1	1.8
	臨時職員	人工		0.5	0.5
	計	人工		2.6	2.3

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
(3)	11	需用費	408 (93)	農業委員改選による支出の増加(委員賞、パトロールキャップ等)
合 計			408 (93)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
農業関係証明等手数料	5	
農地制度実施円滑化事業費補助金	1,013	
農業委員会交付金	1,694	
農業者年金業務委託手数料	115	
図面、用紙等売払収入	2	
合 計	2,829	

## ■特記事項

--

## ■改善策等に対する取組内容

- ・農業委員会の運営方法については、7月の委員改選後から現地確認方式を採用し、委員会総会で委員の現地確認の所見を発表いただき、内容把握の充実が図られた。委員改選後から委員とともに現地確認し、認証行為に代わる内容把握を実施する。
- ・委員会議案書等の取扱いについて、簿冊管理方式を導入し、任期満了後の返還を説明し了承が得られ、各委員が文書保存を実施している。
- ・耕作放棄地解消のための農地相談については、農地パトロール(9/26～11/14)実施後、地区担当農業委員と事務局で台帳をもとに地権者の確認、現在の農地の状況など協議を行った。町内の地権者は地区担当委員で振り分けをし、年度末までに農地相談を実施した。町外の地権者の通知方法については検討中である。

## ■評価

農業委員会委員の改選後から現地確認方式に変更したことで、事務局職員と地元農業委員と一緒に現場確認することで、より公平な判断ができる状態になった。  
また、農地パトロールによる遊休農地の把握とその解消に向けた準備ができた。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	10
事務事業名	農業振興事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(2)	環境と共生した産業の発展
事業目的	食糧自給率の向上を目指した農業振興と農地における町民の理解と参加及び地産地消		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業振興に係る事業</li> <li>・ 水稻の生産調整に関する業務</li> <li>・ 農業の担い手に対する支援（利子補給）</li> <li>・ 有害鳥獣の駆除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業振興に係る事業の住民団体等への委託化</li> <li>・ 生産調整に対する補助については、国の施策の動向に注意しながら、制度の在り方について検討する</li> </ul>	
現在における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観事業について害虫（ジャンボタニシ、タコゾウ虫）による農地への影響のため、実施方法を見直す必要がある。また、耕作放棄地対策をより重視した事業を展開する必要がある。</li> <li>・ 水田情報管理システムが職員による作成プログラムの為、サポート体制に不安がある。</li> <li>・ 米の消費減少に伴う水稻の過剰作付による需給バランスの悪化</li> <li>・ ふれあい農園の待機者が引き続き待っている状況</li> <li>・ 将来的な担い手の育成及び安定化</li> </ul>		
平成 23 年度 に向けた改 善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 23 年度菜の花プロジェクトの一時見合わせ</li> <li>・ 市販の水田情報管理システム（転作システム）への移行</li> <li>・ 米粉利用の事業化研究</li> <li>・ ふれあい農園の増設及び農業ちやれん塾への参加呼びかけ</li> <li>・ 町内企業における地産地消ルートの試行</li> </ul>		

## ■作業工程（平成23年度）

月	作 業 内 容	
4	れんげまつり	役場東側で開催
6～12	古代米田植～収穫祭	地域団体に管理委託
7	野菜コンテスト	ふれあい農園を巡回審査
随時	BDF精製	食用油を燃料に精製

## □3年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観事業協働団体の育成</li> <li>・米粉利用の向上</li> <li>・地産地消ルートの確立</li> </ul>					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
景観事業協働団体数	0	0	0	0	1	2
米粉利用量					H23 に設定	H23 に設定
町内企業地産地消ルート					1	2

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	・
H25	・

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	13,467	16,914	23,323
(内特定財源)		千円	132	396	657
人工	職員	人工		2.0	1.8
	臨時職員	人工		0.0	0.5
	計	人工		2.0	2.3

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
(3)	8	報償費	65 (△75)	担い手育成総合支援協議会及び環境保全型農業推進協議会の一時見合わせ
	12	役務費	67 (20)	農業塾の保険料を追加
	13	委託料	8,563 (6,586)	水田情報システム導入委託料を実施予定
	14	使用料及び賃借料	177 (35)	ふれあい農園(中小口)、農業塾土地の追加
	16	原材料費	5 (5)	BDF 作業の予算事業の組替え
合 計			8,877 (6,571)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
園芸農産振興・農産物流通対策	92	
農業経営基盤強化資金利子補給金	7	
ふれあい農園入園料	158	
ふるさとづくり基金繰入金	400	
合 計	657	

## ■特記事項

--



## ■改善策等に対する取組内容

- ・菜の花プロジェクトは地力増進のため、平成 22 年度の種まきの段階で見合わせた。平成 23 年度は年度当初に採れた子種を使用し安価に播種できた。
- ・水田情報管理システムは町水田協議会の補助事業として町費を持ちだすことなく以降できた。
- ・れんげまつり、ふれあいまつりにて米粉のクレープ、チヂミを出店し、そのPR等に努めた。また、町ホームページで住民に米粉を提供し、米粉利用における利用アンケートを実施した。  
人材発掘については、認定農業者、朝市会とこれからの農業について対話し、平成 24 年度からは若手農業者、町内農作物利用者等で地産地消の実証を進めることになった。
- ・ふれあい農園については入園待機者が 1 名だったこともあり、新規農園の開発は見合わせた。  
農業ちゃれん塾については、ふれあいまつりでPRと第 3 期生募集を呼びかけ、平成 24 年度からは、土日祝日開催でファミリーを対象に 4 組の応募があった。
- ・地産地消ルートについては、町内企業の農産物販売は実証できなかったものの、すでに納入を実施している町内認定農業者や、新たに農業生産法人等の学校給食の導入検討など、平成 24 年度以降の事業展開の可能性が出てきた。

## ■評価

農業ちゃれん塾については、平成 24 年度の募集に対しても好評であり安定した成果が見られる。人材発掘についても、若手農業者が参画する団体結成が見込まれ今後の発展に大きな望みができた。地産地消については、給食センターと協力し若手農業者及び新規農業参入NPO法人よる学校給食への農産物の提供に向けた事業展開の可能性ができた。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設部建設農政課	No.	11
事務事業名	農地流動化事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(2)	環境と共生した産業の発展
事業目的	農業振興地域整備計画は、優良な農地を確保・保全するとともに、農業振興のための各種施策を計画的に推進する。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・農地の利用集積の推進</li><li>・農業振興地域整備促進協議会の開催</li><li>・農業振興地域整備計画の変更等</li></ul>		
現在における課題	農地の荒廃化の未然防止及び担い手農家の規模拡大		
平成23年度に向けた改善策等	景気停滞から農地の開発案件が少ない状況であるが、引き続き担い手農家の営農を妨げないように農地の保全に努める必要がある。		

## ■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
6	農業振興地域整備促進協議会
9	農業振興地域整備促進協議会
12	農業振興地域整備促進協議会
3	農業振興地域整備促進協議会

## □3年間の目標

目 標	・農業振興地域整備計画の見直しを予定どおりに進める。					
項目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
整備計画見直し				基礎調査	策定	

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	・農業振興地域整備計画の見直し
H25	・ ・

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	794	615	1,312
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工		1.4	0.7
	臨時職員	人工		0.0	0.0
	計	人工		1.4	0.7

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減 (前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
(5)	13	委託料	697 (697)	農業振興地域整備計画の見直し (概ね 5 年ごとに見直し。前回 H18, H19)
合 計			697 (697)	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
合 計		

## ■特記事項

--

## ■改善策等に対する取組内容

農地の開発案件については、愛知県と連絡を常に行い、農地保全に努めた。  
また、農業振興地域の見直しについて、県と調整前に農振協議会に素案を提出し理解を求めた。

## ■評価

農地の利用集積による効率の良い農地利用の推進が図られた。  
また、農業振興地域の見直しや開発案件について、愛知県との連絡を常に行うことで適切な判断ができたと思われる。

# 事業別経営計画書【B】

## ■基礎情報

所属名	建設部建設農政課		No.	12
事務事業名	土地改良事業			
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する	
	小分類	(2)	環境と共生した産業の発展	
事業目的	農業経営の合理化を図るため、用排水路の計画的な維持管理を行う。			
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化の進んだ土地改良施設の更新を行い、農業労力の軽減、農業用車両の安全確保及び、用排水路の通水不良の改善等、農業経営の合理化を図る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路、河川及び橋りょう工事を含め合理的に整備ができるように計画的な改修及び修繕計画を立てる</li> <li>・用水路のパイプライン化の調査検討</li> <li>・排水路敷の緑化の調査検討</li> </ul>	
現在における課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化が進み、要修繕箇所が増大している。営農に支障をきたす箇所においては緊急的に修繕を発注する必要があるため、計画的な維持修繕が困難な状況にある。また、近年の財政状況により、広域的かつ段階的に整備が出来ない状況にある。</li> </ul>			
平成 23 年度 に向けた改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急的な地区を選定し、計画的かつ合理的に整備していく。</li> <li>・施設台帳整備に向けた検討</li> <li>・区要望に対する早期回答</li> </ul>			

## ■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
5 ～ 9	用水管理
9	単独土地改良事業の認可申請
11	認可（予定）
12	認可を受けた施設の改修工事の発注
3	完了

## □3年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設点検とデータ整理による状況把握と評価</li> <li>・求められる性能を念頭とした管理水準の設定</li> <li>・劣化予測による将来の状況、性能の推定</li> <li>・中長期管理計画の策定（予算の平準化やコストの縮減を考慮した最適な維持管理計画）</li> </ul>					
項目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
施設台帳整備				準備	完成	
維持管理計画策定					準備	完成

## □2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	・土地改良（農業用）施設台帳の整備
H25	・施設台帳を利用した維持管理計画の策定

## ■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	33,157	67,928	32,146
(内特定財源)		千円	6,695	13,837	8,701
人工	職員	人工		0.4	0.4
	臨時職員	人工		0.0	0.0
	計	人工		0.4	0.4

## ■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
(1)	9	普通旅費	7 (△7)	実態に合わせ精査
	11	修繕料	500 (100)	施設の老朽化が進み、要修繕箇所が増大
	14	積算システム使用料	53 (△47)	使用料算定方法の変更
	15	農道、農業用排水安全対策等施設整備工事費	23,100 (△7,100)	国庫補助額の削減による
	19	国営総合農地防災事業負担金	0 (△29,275)	H22 年度に同事業が完了し負担金が発生したため
合 計			23,660 △36,329	

## ■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
単独土地改良事業費補助金	8,700	県費
大瀬川堰維持管理負担金	1	小牧市
合 計	8,701	

## ■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全（計画的にメンテナンスを行うこと）をめざす。



## ■改善策等に対する取組内容

## ■評価

施設台帳整備のため平成24年度には用排水路の調査のための予算を確保することができた。  
この調査結果に基づき、財源を考えた計画的な改修・補修計画を策定していく必要がある。